

## みちのく民俗村

初代村長

村民第1号、ガードマン赤鬼さん

どろ亀さん×C.W.ニコルさん 展

懐かしの初代村長とニコルさんの 願いは、森や自然環境への気づき、 好奇心のもととなる「心のタネ」を まくことでした。

民俗村からこのメッセージを お届けします。



C.W. ニコル・アファンの森財団 東京大学北海道演習林 富良野市博物館 北上市立博物館 みちのく民俗村 株式会社展勝地 協力



## みちのく民俗村

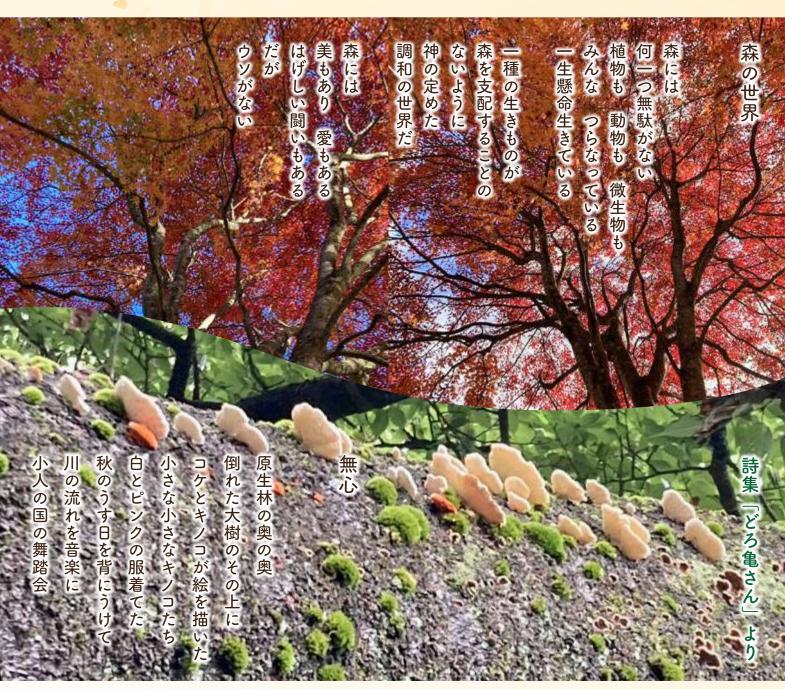
初代村長 村民第1号、ガードマン赤鬼さん **とろ亀**さん × C.W. ニコルさん **展** 

場所 みちのく民俗村園内 民俗資料館(旧黒沢尻実科女学校) 旧今野家住宅 展勝地茶屋

内容
■生い立ちや日々の活動などのパネル展示

■どろ亀さん、ニコルさんの DVD 上映

■アファンの森グッズの販売



## ●どろ亀さん (1914~2002年)

高橋延清東京大学名誉教授。1938年、東京大学北海道演習林に着任。 「森こそが教室」と現場主義を貫いた。豊かな森づくりをめざした「林分施業法」 (HPから無料でダウンロード可) は現在も継続中で、6つの原則から成り立っている。

定年退官後は全国各地で森づくりの指導に努め、広く一般に森の心を伝えつつ、植・育樹活動や自然環境保全への啓蒙を続けた。日本学士院エジンバラ公賞、みどりの文化賞をはじめ受賞多数。著書は「詩集どろ亀さん」「樹海」など。

## ●C.W. ニコルさん (1940 ~ 2020 年)

作家、自然保護活動家、探検家。1962年に初来日。宮沢賢治の童話の英 訳をきっかけに岩手県に親しんだ。1986年から長野県で放置されていた森林 の再生活動に取り組み、「アファンの森」と名付けたその面積は今なお広がっ ている。

2002年、私財を投じ(一財) C.W.ニコル・アファンの森財団を設立。東日本大震災後は子どもたちの心のケアに注力、東松島市の木造校舎建設にも尽力した。名誉大英勲章はじめ受賞多数。著書は「勇魚」「風を見た少年」など。

どろ亀さんとニコルさんについての詳細はホームページで!

どろ亀さんオフィシャル https://dorogamesan.com/

C.W. ニコル・アファンの森財団 https://afan.or.jp/